

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 columns: 事業所番号, 法人名, 事業所名, 所在地, 自己評価作成日, 評価結果市町村受理日. Contains details for 0193600111.

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, URL address: https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action\_kouhyou\_detail\_022...

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当時事業所は自然豊かで鳥のさえずりが聞こえる環境の中にあり、ケアハウス、介護付き老人ホームなどの協力事業所も白老町内に位置している。又、協力病院も近く主治医の回診や看護師の訪問など医療の連携が充実していることから入居者様や家族様には安心されて日々の生活を送られている。町内会や地域住民との交流を深めるためにお互いの行事参加など、地域との繋がりを大切にしている。運営推進会議の定期開催においても白老町、町内会、家族様などのいろいろな視点からの意見を頂き、繁栄に繋げている。季節ごとの行事や外出、外食など各ユニットごとに入居者様に楽しんで頂くとう職員が思考を凝らしている。コロナ過でほとんどの行事が自粛され多くを施設内で過ごされていますが、その中でもできる範囲でいろいろなレクレーションや行事を考え実施しています。日々ケア理念である「ひとりひとり似合ったその人らしい当たり前の生活が続けていける」を心掛け支援している。

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 columns: 評価機関名, 所在地, 訪問調査日. Details for 特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット.

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は、白老町の中心部に位置し、平屋造りの建物で木を基調とした天窓からの陽光が柔らかな、広くゆとりある住環境である。開設時より地域の人達が気軽に訪れ、地元の魚、肉等の差し入れや除雪の手伝いなどで、自然な関わりが継続されている。現在は相互に自粛傾向にあるが、通例では、併設のデイサービスや様々なボランティア、小学児童とのふれあいも盛んである。医療面は充実しており、協力医療機関との連携により、訪問診療による対応や主治医、家族、看護師との連携にて、ターミナルケアにも対応出来る体制が整備されている。職員は、コロナ禍で制限が多い中、感染防止に留意しながら、個別に近隣への散歩やドライブ等、短時間でも外気に触れる機会作りを努めている。また、担当者による個別のお便りを発行し、利用者の生活状況や健康面、気付き等を家族に伝えている。今後も利用者の自立心、自尊心を大切にしたいケア理念の更なる実践に期待したい。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55まで日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Contains 10 rows of evaluation items (No. 56-62).

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念、ケア理念は玄関ホールや事務所、各フロアなど、目のつきやすい所に掲げ理念の共有、実践につなげている	法人の基本・ケア理念を事業所内に提示し、共有している。職員は日々、達成度を評価しながら、実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しお互いの行事参加や推進会議開催時など、意見交換を行っている	通例では、地域活動に積極的に参加している。自粛傾向の中、地域との交流、事業所の近況の周知等、関係維持に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	推進会議開催時の町内の方、有識者との意見交換や「認知症の人の家族の集い」などに参加し地域の方やご家族の方に対応方法など相談に乗っている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月ごとの開催時にはサービスの状況を報告し、参加者皆様と意見交換を行い、それぞれの参考意見をサービスの向上に活かしている	家族、地域代表、行政等の参加を得て、定例で開催している。運営状況やヒヤリハット・事故等、現状の問題点まで論議され、参会者から意見を聞き取り、運営に活かしている。議事録は家族に送付しており、お便りの他、事業所全体の様子も伝えている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者とは日頃から事業所の実情を伝え、分からないことは相談し意見や指導を頂き協力関係を築いている	町、地域包括支援センターから情報提供・アドバイスを得ている。また、包括主催の活動への参加・協力や運営状況や事業所での取り組みについて報告し、情報交換を行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に委員会を開催し、身体拘束廃止に努めているが、やむを得ず制限しなければならない場合は方法の検討を行っている	身体拘束廃止委員会を設置し、定例で開催、内容について全職員に周知している。全利用者の現状の確認と不適切なケアについて、虐待も含め、具体的な事例を職員間で協議し、改善している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に関する研修や会議に参加し、社内研修を行い、虐待の防止に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修や会議に参加し、学んだことを踏まえて、現在、制度を活用している方への支援や、これから使用する方においてもスムーズに活用できるように支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご家族からの疑問点や改定時には文章や口頭にて説明を行い、理解、納得を図っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族には来訪時や電話で意見や要望を聞きとり、ご利用者とは生活の中から聞き取り、運営に反映している	面会はガラス越しやリモート面会等、多様な方法について職員間で検討し、感染防止に留意・工夫しながら、弾力的に再開している。担当者によるお便りで、個別の生活・健康状態について、写真を添えて詳細に伝えている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の各ユニット会議で意見や希望、提案などを聞く機会を設け反映させている	申し送りやユニット会議の場で、職員との意見交換や提案を受け、運営に活かしている。また、個別の相談には管理者が随時対応する等、雇用形態、シフトも含め、働きやすい環境作りに配慮している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の特徴と能力を活かし、張り合いを持って働けるよう職場環境を大切にしている。研修会なども積極的に行い、向上心の維持を図っている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の実績や力量を把握し、できる限り施設内外の研修に参加する機会を持ち、各職員が働きながらトレーニングしていくことを進めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者とは相談事や勉強会など交流を持ち、サービスの質の向上に繋げている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居予定の段階で、本人との面会時にアセスメントを行い不安に思っていることや要望などを聞き取り、安心して入居できるよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学や入居申し込み時に、ご家族などが不安に思っている事や要望に耳を傾け、説明を行い関係づくりに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族等の要望を聞き、必要性の順位を見極め、他のサービス利用の検討も行っている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共同作業を行ったり、相談ごとやお願いごとなどを投げかけ、関係性を築いている		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	施設行事の参加、日頃の電話や面会時に現状の説明を行い、ご家族からの意見や要望を聞き、共にご本人を支えていく関係を築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者の馴染みの友人や入信している宗教関係者など馴染みの人との関わりが途切れないよう、電話や手紙、面会の支援、集会参加支援などに努めている	通例では、馴染み希望する場所への訪問は、職員の同行や家族の協力を得て、支援している。コロナ禍において、現在は時間を制限しての面会としたり、電話連絡の頻度を上げることで、関係が途切れないよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合うご利用者同士が、お互いの居室を出入りされている。おやつ時間や映画、懐メロのDVD鑑賞などご利用者同士の交流支援に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も暫くご家族との関わりは続いていて、手紙や電話を頂き思い出話をしたり相談に応じることもある		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者本人の希望していることや意向の把握に努め、意思に添えるよう検討している	日常生活に寄り添い、会話や表情から思いや希望を把握し、家族にも協力を得ながら情報収集に努めて、日々のケア、介護計画作成に活かしている。	最後の時間をどこで過ごしたいのか等の最終段階に関して、本人から具体的な思いを聞き取り・記録し、より本人本位の生活となるよう期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のモニタリング、利用サービスの記録を踏まえて、入居後も定期的にサービス利用の経過等に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各ご利用者のその日の体調、精神状況を把握し、無理なく生活行動が行えるように支援している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々行っている夕令や毎月行っているカンファレンスなどで、各ご利用者の課題とケアについて話し合い、ご家族や医療機関との連携を持ち介護サービス計画に活かしている	管理者、介護支援専門員を中心に、職員相互にモニタリング結果を検証して、本人・家族の要望や職員、医療機関の意見を反映した介護計画となるよう努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の業務日誌や個別記録、健康に関する記録などを記載し、職員間で情報の共有を図りながら実践や介護サービス計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者やご家族の状況においては、日々のニーズに対して柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会行事や他施設祭りへの参加など、個々のご利用者にあった地域資源を活用し、暮らしに楽しみを得るように支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	日頃より各医療機関との関係は良好でご利用者、ご家族の意向を大切に歯科、眼科、皮膚科などの適切な医療の支援を行っている	本人、家族の要望を伺い、かかりつけ医とのつながりを大切に支援するよう努めている。また、協力医療機関での受診結果については都度、お便りや電話で家族に伝えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関の看護師の訪問があり、情報を共有し、気づきや変化など連絡相談し適切な処置を受けられるよう支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の病院関係者との連絡を取り合い、情報交換や相談を行っている。日頃より近隣の医療機関との関係づくりに努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期においては、早い段階で主治医とご家族の話し合いの場を設け、ご家族の意向や思いを大切に、事業所でできることを説明し、職員間でも頻回にカンファレンスを行い、ご家族にも協力を頂き支援に取り組んでいる	契約時に事業所の方針を説明し、状態変化に応じて関係医療機関、家族と終末期を支えるための話し合いを行っている。職員は経験から振り返り、看取りケアについて定期的に学び、本人と家族の希望に寄り添うよう努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に研修会を開催し、急変時や事故発生時を想定した話し合いや訓練等を行い実践力を身に付けている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に消防署の方々の参加を得て火災避難訓練を実施し、地震や水害時等の助言も受けている。また、推進会議などでも地域の方々に相談し、協力体制を築いている	定例で火災・自然災害を想定した避難訓練を実施している。近隣の福祉サービス事業所や地域町内会との災害時の協力体制があり、相互の役割確認を行っている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	各ご利用者の人格やプライバシーに配慮した言葉かけを心掛け、対応に努めている	職員は利用者一人ひとりの想いや意向を聞き取り、応えるよう努めて、個々の誇りや個別性を損なうことのないよう支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃の会話やちょっとした態度などから、ご利用者の思いや希望を汲み取るように努め、自己決定できるように働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務を優先するのではなく、ご利用者一人一人のペースを大切に、日々希望にそった支援ができるように心掛けている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣服の乱れや整髪の手直しを行ったり、訪問美容師・理容師による散髪の支援を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	年に数回、外食行事を設けている。ご利用者からの要望を受け一緒に準備することもあり、後片付けをお願いしたり一緒にいたりしている	利用者の希望を取り入れ、季節感を大切にした食事を心掛けている。好きなお手伝いをお願いし、楽しんで調理に参加出来るよう、職員が工夫している。コロナ禍においては、テイクアウト利用で外食気分を味わっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は記録され、看護師に報告し、助言を得ている。飲み物等、各ご利用者の嗜好に配慮し好みのものを提供している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時や毎食後、個々の能力に合わせて口腔ケアを行い、近隣の歯科医院に相談、受診を行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	各ご利用者の排泄パターンを記録し、習慣の把握に努め、排泄への声掛け、誘導を行いトイレでの排泄を心掛けている	トイレでの排泄を基本として取り組んでおり、一人ひとりの排泄パターンやサインを共有し、自然な排泄となるように支援している。衛生用品の使用も、個々に合った製品を職員間で検討、使用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	各ご利用者の排便日時を記録し、腹部マッサージや排便を促す飲食物の提供、服薬調整など、個々に応じた便秘予防に努めている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	大まかな入浴日は予定されているが、ご利用者個々の体調やタイミングに合わせた入浴を行っている	毎日お湯はりをし、個々の希望、状態に合った入浴を心掛けている。無理強いすることなく、時間や担当者に変化をつけ、ゆっくり、楽しい入浴となるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣に合わせた昼寝や休息を行い、夜間の就寝時には入眠されるまでホールで過ごしたり、時には軽い飲み物などを提供し安眠を促している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者個々の検査データや服薬情報の記録を管理し情報の共有を図り、症状に変化のみられる時は、Dr・Nsに報告を行い指示を受けている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の後片付け、掃除などを日課として行っている。嗜好品はリクエストを聞き提供し、映画鑑賞や外散歩など気分転換などの支援をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節合った外出、外食、ドライブを行っている。個人的な集会参加など、ご家族や地域の人々の協力を得て外出している	全体での外出行事は自粛しているが、個別に声掛けし、周辺の散策をしている。日常生活に運動を取り入れる等、職員は利用者の気分転換や心身の機能維持に努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	数名のご利用者が個人でお金を所持しているが、大方は事務所金庫で預かり、希望に沿って買い物も代行している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族からの電話の取次ぎや、ご利用者希望による電話を掛ける支援を行っている。又、ご家族や知人からの手紙のやり取りの支援も行っている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	当事業所は平屋造りで天井も高く、ベランダからは自然を満喫することができる。季節ごとに展示を行い、季節感を取り入れている。毎日、ホールや各居室の温度、湿度管理を行い心地良く過ごせるよう工夫をしている	陽当たりの良いリビングを中心に、和める雰囲気づくりに留意して、寛げる備品の配置や季節に合わせた飾り付けをしている。また、温・湿度の管理や換気等、健康に配慮した空間作りを心掛けている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	皆で集える場所以外、少し離れた所に椅子やソファを置き、気の合ったご利用者同志や、一人で過ごせる場所作りの工夫を行っている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々の馴染みの物や大切にしている物などをご本人、ご家族と相談の上、居室に配置し安心して過ごせるように工夫をしている	居室には、自宅から使い慣れた家具や生活雑貨が持ち込まれている。状態の変化が見られた場合は、本人や家族と相談して整理・模様替えを行い、自室として、安全に安心して過ごせる環境作りに努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	スタッフルームからは、ほぼ全居室が確認できる位置にあり、生活動線も広く各居室やトイレなど掲示されている		